

かがやく花々

平和の子ら

学校法人平和学園
平和学園小学校
2014年度 学校だより 第10号
〒253-0031
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
Phone 0467-87-1662/ 0131
Fax 0467-87-0411
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

年間聖句 (2014年度)

これらすべてに加えて、愛を身につけなさい。愛はすべてを完成させる
きずなです。(コロサイの信徒への手紙 3章14節)

信賴して

校長 橘 明 子

12月12日(金)は平和学園小学校・アレセア湘南中学・高等学校合同のクリスマス礼拝でした。大きなアリーナが生徒・児童・保護者・教職員で埋め尽くされた中、吹奏楽部・ハンドベル部の演奏が流れて静かに礼拝が始まりました。この会場に集まった一人ひとりが、イエスさまの誕生の喜びと神さまへの信賴を心の中で祈り賛美したことでしょう。クリスマスメッセージは平和教会牧師の大澤先生でした。「このクリスマスから、平和を作り出す歩みがはじまる」と先生は語られました。

また、「3年生のページェントに感動した」と礼拝後、大澤先生が小学校に立ち寄って下さいました。そして、子どもたちの企画した祝会の様子をご覧になり、ありのままの姿、子どもらしさが溢れた会にお時間が許す限り参加して下さいました。感謝です。

十数年前の平和学園の高等学校では、コーラス隊がキャンドルをもって、厳かに、静かに賀川村島記念講堂の入り口から入場しました。講堂の光を落とし、キャンドルの光だけが暗闇に輝きます。待ちに待つクリスマスとは、きっと……。そして礼拝の中で、ハレルヤの合唱があり、みんなで喜びを分かち合います。このように本当のクリスマスの喜びを、一人ひとりが心の中にしっかりと刻み、平和を作り出す人として生きることを願う学園は生徒を送り出していました。時代は流れ社会の状況は変わります。しかし、平和学園が大切に伝えたい精神は、今の時代になっても変わらずに受け継がれているのです。♪クリスマスだからかかんがえる♪と言う歌があります。平和学園みんなで考えましょう。隣人のこと、愛するということ、共に生きるということ。……。

毎年毎年、クリスマスを迎える時、本当のクリスマスとは何かと考えます。そして、建学の精神に立ち返っていきます。

「平和を作り出す人たちは さいわいである」

この精神が子どもたちの心の中に、根を張ることを願う日々学校生活を過ごしています。しかし、同時に平和を作り出す歩みが、子どもたちだけではないことに気づかされます。それは、保護者の皆様も同じようにこの学園の精神を受け継ごうとして下さっているということです。また、子どもたちの学校生活がイエス様とともにあることを祈り続けて下さっていることに感謝しています。子どもの社会の中で起きている事柄は、保護者の皆様と先生方が見守り、神さまが支えて下さいます。神様がいつまでも子どもの歩く道を照らし導いて下さっていることを信じて、これからも神さまにお委ねしていきたく思います。

